

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 213-8505

住所 川崎市高津区下野毛二丁目12番1号

氏名 クノール食品株式会社 印
代表取締役社長 山田 裕美
(代理人) 川崎事業所長 岡島 祐史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	クノール食品株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	09	食料品製造業
主たる事業 の内容	スープ類、その他食料品製造業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,724	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	川崎事業所管理部工務課
		所在地	川崎市高津区下野毛二丁目12番1号
		電話番号	044-811-3124
		FAX番号	044-844-7440
		メールアドレス	skk_koumu@ajinomoto.com
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ~ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 7,533 t-CO ₂ (調) 6,468	(実) 7,194 t-CO ₂ (調) 6,178	(実) 7,301 t-CO ₂ (調) 6,246	(実) 6,486 t-CO ₂ (調) 5,586	(実) 7,307 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 4.5 % (調) 4.5	(実) 3.1 % (調) 3.4	(実) 13.9 % (調) 13.6	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.5022	0.4496	0.4056	0.4054	0.4871
削減率		10.5 %	19.2 %	19.3 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	第1工場設置の特別空調設備更新工事に伴い、工事期間中(3ヶ月)の設備停止、各種空調機の更新及び第2工場不用設備の撤去により、不用設備を停止させること及び21年度末設備更新工事の効果寄与により、排出量で4.5%、原単位では10.5%削減することができた。
第2年度	食堂棟空調機9台更新及び、その他一般空調機更新、プロセス製造設備更新、包装設備更新の実施。15%節電対応による、不要時の消灯または、設備停止による待機電力削減などを行うことで、計画時に対して原単位で19.2%削減することができた。
第3年度	特高変電所更新に伴う、変圧器の高効率化及び第2・5変電所の力率改善の実施、第3工場コンプレッサー更新による使用電力量削減、その他一般空調機8台更新、プロセス製造設備更新、包装設備更新の実施。節電対応による、不要時の消灯または、設備停止による待機電力削減などを行うことで、目標3%に対して原単位で19%削減することができた。また、排出量も同様に目標3%に対し13%削減することができた。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備の保全管理 ○空調機の管理 ○照明設備の管理運用 ○ヒートポンプの導入
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ISOの仕組みとして確立されている全社での、環境管理検討会にて本社部門と各事業所部門との情報交換を行った。 ○ヒートポンプの導入 熱源機器更新時及び空調機更新時にはCOP値の高い機器の導入を行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 15%節電時に推進体制を元に行動計画を策定し、行動を実施した。 ○主要設備の運転管理 15%節電に伴い、不要時の運転停止等きめ細かい運転管理を実施した。 ○ヒートポンプの導入 空調機器更新時にはCOP値の高い機器の導入を行った。
	第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 スマートエネルギー施策を元に行動計画を策定し、行動を実施した。 ○主要設備の運転管理 節電努力要請に伴い、不要時の運転停止等きめ細かい運転管理を実施した。 ○ヒートポンプの導入 空調機器更新時にはCOP値の高い機器の導入を行った。 ○照明設備の管理運用 離席時や、昼休み時には消灯することを徹底した。また、交換時には高効率機器を採用した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・ 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る・ 運送委託業者に対する低燃費車使用やエコドライブの実施の要請・ 製品簡易パッケージの採用検討・ 環境関連イベントの積極的参加
第1年度	平成22年度該当項目無し
第2年度	平成23年度該当項目無し
第3年度	川崎市エコ運搬制度における運搬制度の要請 62社 廃棄物の減量化・分別化の推進については取り組んではいますが、効果が出ていません。 製品簡易パッケージの採用検討につきましては今後検討していく課題であります。 環境関連イベントの積極的参加につきましては、参加するタイミングが合わず参加できませんでした。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,967	t-CO ₂
(調)	6,956	

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎事業所	川崎市高津区下野毛 2-12-1	0999	その他食料品製造業	6,967 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--